



2019年6月期 決算短信(日本基準)(連結)



2019年8月8日

上場会社名 澁谷工業株式会社

上場取引所

東名

コード番号 6340 URL <https://www.shibuya.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澁谷 弘利

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 吉道 義明

TEL 076-262-1201

定時株主総会開催予定日 2019年9月26日

配当支払開始予定日

2019年9月27日

有価証券報告書提出予定日 2019年9月27日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期の連結業績(2018年7月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期	108,626	10.7	10,369	7.9	10,352	4.8	7,766	3.8
2018年6月期	98,140	7.1	9,605	12.3	9,882	8.8	7,480	12.7

(注) 包括利益 2019年6月期 7,328百万円 (2.8%) 2018年6月期 7,538百万円 (1.2%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年6月期	280.70		12.7	8.5	9.5
2018年6月期	270.36		13.6	9.1	9.8

(参考) 持分法投資損益 2019年6月期 4百万円 2018年6月期 4百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年6月期	131,136	63,861	48.7	2,307.43
2018年6月期	111,747	58,193	52.1	2,102.23

(参考) 自己資本 2019年6月期 63,841百万円 2018年6月期 58,164百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年6月期	16,609	2,712	2,706	29,771
2018年6月期	4,751	1,024	3,617	18,610

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年6月期		20.00		30.00	50.00	1,383	18.5	2.5
2019年6月期		30.00		30.00	60.00	1,660	21.4	2.7
2020年6月期(予想)		30.00		30.00	60.00		24.2	

3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	112,000	3.1	9,600	7.4	9,700	6.3	6,870	11.5	248.30

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年6月期	28,149,877 株	2018年6月期	28,149,877 株
期末自己株式数	2019年6月期	482,007 株	2018年6月期	481,708 株
期中平均株式数	2019年6月期	27,668,035 株	2018年6月期	27,668,413 株

(参考)個別業績の概要

2019年6月期の個別業績(2018年7月1日～2019年6月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期	74,048	19.7	6,436	16.8	7,684	9.8	6,011	16.8
2018年6月期	61,862	3.7	5,512	1.1	6,997	6.3	5,146	7.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期	217.26	
2018年6月期	186.02	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年6月期	107,557	55,957	52.0	2,022.46
2018年6月期	89,794	52,159	58.1	1,885.18

(参考) 自己資本 2019年6月期 55,957百万円 2018年6月期 52,159百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。よって、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
 なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P2「経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(表示方法の変更)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18
4. その他	19
(1) 受注の状況	19
(2) 役員の変動	20

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する分析

① 当期の経営成績

当連結会計年度におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の影響により中国をはじめ海外経済の減速があったものの、雇用や所得環境の改善が続き、個人消費や設備投資は底堅く、景気は総じて緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況のなか、当社グループの連結売上高は1,086億26百万円（前期比10.7%増）、営業利益は103億69百万円（前期比7.9%増）、経常利益は103億52百万円（前期比4.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は77億66百万円（前期比3.8%増）となりました。なお、売上高は10期連続で過去最高売上高を更新し、目標としていた連結売上高1,000億円を達成しました。また、営業利益と経常利益は4期連続で過去最高益を更新しました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[セグメント別の売上高]

(単位：百万円)

セグメントの名称	前連結会計年度	当連結会計年度	対前年比
			%
パッケージングプラント事業	54,389	63,777	+17.3
（酒類用プラント）	（ 2,065 ）	（ 2,985 ）	（ +44.5 ）
（食品用プラント）	（ 34,462 ）	（ 46,577 ）	（ +35.2 ）
（薬品・化粧品用プラント）	（ 15,743 ）	（ 11,917 ）	（ △24.3 ）
（その他）	（ 2,117 ）	（ 2,296 ）	（ +8.5 ）
メカトロシステム事業	30,192	31,001	+2.7
農業用設備事業	13,558	13,848	+2.1
合 計	98,140	108,626	+10.7

(パッケージングプラント事業)

パッケージングプラント事業の売上高は、薬品・化粧品用プラントはアンプル・バイアルなどの充填ラインの納入が少なく減少したものの、酒類用プラントは生産集約を目的とした国内大手清酒メーカーへの納入があり、また食品用プラントは国内向け飲料用無菌充填ラインの納入が大きく増加したことから、前連結会計年度に比べ増加しました。

その結果、売上高は637億77百万円（前期比17.3%増）、営業利益は98億70百万円（前期比15.7%増）となりました。

(メカトロシステム事業)

メカトロシステム事業の売上高は、半導体製造装置は中国向けの販売が米中貿易摩擦の影響を受け減少したものの、医療機器は国内、中国および欧州向けの販売が好調で増加したことから、前連結会計年度に比べ増加しました。

その結果、売上高は310億1百万円（前期比2.7%増）となりましたが、損益面については、半導体製造装置において操業度の低下により固定費負担が高まったことから、営業利益は16億34百万円（前期比1.8%減）と減益となりました。

(農業用設備事業)

農業用設備事業の売上高は、柑橘類向け選果選別プラントの納入が減少したものの、野菜類向け選果選別プラントが増加したことから、前連結会計年度に比べ増加しました。

その結果、売上高は138億48百万円（前期比2.1%増）となりましたが、損益面については、一部の大型プラントで採算性の良くない案件があったことから、営業利益は10億3百万円（前期比29.1%減）と減益となりました。

② 次期の見通し

今後の見通しにつきましては、米中貿易摩擦や英国のEUからの離脱、中東情勢などの影響が懸念され、景気はやや不透明な状況で推移するものと見込まれます。

このような状況のなか、パッケージングプラント事業の売上高は、引き続き飲料用無菌充填ラインの受注が好調であることから、全体として増加を見込んでおります。

メカトロシステム事業の売上高は、医療機器は在庫調整のため減少が見込まれるものの、半導体製造装置は米中貿易摩擦の影響で大きく落ち込んだ売上が5G対応の光通信用部品の製造装置などに注力することから徐々に持ち直すものと見込んでおり、また切断加工機は新型ファイバーレーザー加工機が増加することから、全体としては小幅な増加を見込んでおります。

農業用設備事業の売上高は、「産地パワーアップ事業」および「強い農業づくり交付金」等の補助事業が継続されるものの、前期に比べて野菜類向けの大型案件が少なく、減少を見込んでおります。

以上により、連結業績は売上高1,120億円（当期比3.1%増）、営業利益96億円、経常利益97億円、親会社株主に帰属する当期純利益68億70百万円を予定しております。

(2) 財政状態に関する分析

① 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の資産については、現金及び預金が111億69百万円増加し、有形固定資産が25億59百万円増加したことから、前連結会計年度末に比べ193億89百万円増加し1,311億36百万円となりました。

負債については、支払手形及び買掛金が52億81百万円増加し、前受金が62億79百万円増加したことから、前連結会計年度末に比べ137億22百万円増加し672億75百万円となりました。

純資産については、主として親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が61億6百万円増加したことから、前連結会計年度末に比べ56億67百万円増加し638億61百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況に関する分析

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況については次のとおりであります。

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,751	16,609	11,858
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,024	△2,712	△1,688
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,617	△2,706	911
現金及び現金同等物の期末残高	18,610	29,771	11,161

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、166億9百万円の資金増加（前期は47億51百万円の資金増加）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が107億43百万円となり、売上債権の増加額12億69百万円、たな卸資産の増加額25億67百万円、前渡金の増加額10億38百万円および法人税等の支払額31億51百万円による資金減少があったものの、前受金の増加額63億10百万円、仕入債務の増加額52億92百万円および非資金項目である減価償却費21億26百万円による資金増加があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、27億12百万円の資金減少（前期は10億24百万円の資金減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が22億56百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、27億6百万円の資金減少（前期は36億17百万円の資金減少）となりました。これは主に、借入金返済および配当金の支払によるものであります。

これらの結果、現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末より111億61百万円増加し297億71百万円（前期比60.0%増）となりました。

(ご参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年6月期	2017年6月期	2018年6月期	2019年6月期
自己資本比率 (%)	45.9	48.9	52.1	48.7
時価ベースの自己資本比率 (%)	47.5	88.3	84.1	61.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	0.9	1.2	1.4	0.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	105.5	78.6	69.5	351.1

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

- ※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。
- ※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。
- ※ 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

利益配当につきましては、当社の基本的な考えは将来の収益向上と利益確保のために内部留保を充実し、また株主へも安定的な配当を実施すること、そして1株当たり利益の長期的向上をとおして株主に報いていく方針であります。

当期の配当金につきましては、前期に比べ10円増配の1株につき60円を予定しております。既に中間配当として1株につき30円を実施しておりますので、期末配当は1株につき30円を第71回定時株主総会に付議する予定であります。なお、次期の配当金につきましては、中間および期末にそれぞれ1株につき30円（年間配当は1株につき60円）を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際会計基準に基づく連結財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当連結会計年度 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,869	30,038
受取手形及び売掛金	38,365	39,612
製品	264	382
仕掛品	9,669	11,950
原材料及び貯蔵品	2,797	3,005
その他	1,696	3,478
貸倒引当金	△22	△28
流動資産合計	71,638	88,440
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,928	16,846
機械装置及び運搬具(純額)	2,203	2,418
土地	11,606	11,575
建設仮勘定	314	1,589
その他(純額)	954	1,135
有形固定資産合計	31,007	33,566
無形固定資産		
のれん	556	375
その他	339	303
無形固定資産合計	895	678
投資その他の資産		
投資有価証券	3,952	3,835
長期貸付金	8	6
退職給付に係る資産	2,429	2,547
繰延税金資産	1,124	1,368
その他	726	723
貸倒引当金	△37	△30
投資その他の資産合計	8,205	8,451
固定資産合計	40,108	42,696
資産合計	111,747	131,136

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当連結会計年度 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,266	31,547
短期借入金	2,026	1,730
未払法人税等	1,700	1,656
未払費用	5,518	6,206
前受金	4,139	10,418
賞与引当金	379	403
受注損失引当金	108	206
製品保証引当金	89	80
その他	1,906	4,117
流動負債合計	42,135	56,368
固定負債		
長期借入金	4,419	3,689
退職給付に係る負債	6,499	6,680
役員退職慰労引当金	318	321
繰延税金負債	64	33
その他	115	183
固定負債合計	11,417	10,907
負債合計	53,553	67,275
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,392	11,392
資本剰余金	10,358	10,357
利益剰余金	37,853	43,959
自己株式	△436	△437
株主資本合計	59,166	65,271
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	337	△230
繰延ヘッジ損益	△1	10
為替換算調整勘定	4	△32
退職給付に係る調整累計額	△1,343	△1,178
その他の包括利益累計額合計	△1,001	△1,430
非支配株主持分	29	19
純資産合計	58,193	63,861
負債純資産合計	111,747	131,136

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
売上高	98,140	108,626
売上原価	78,413	87,696
売上総利益	19,726	20,930
販売費及び一般管理費	10,121	10,561
営業利益	9,605	10,369
営業外収益		
受取利息	10	9
受取配当金	82	51
投資有価証券売却益	237	—
固定資産賃貸料	14	10
スクラップ売却益	37	30
持分法による投資利益	4	4
その他	100	118
営業外収益合計	488	224
営業外費用		
支払利息	69	47
投資有価証券売却損	54	—
租税公課	41	35
為替差損	15	33
損害賠償金	5	102
その他	26	23
営業外費用合計	211	241
経常利益	9,882	10,352
特別利益		
固定資産売却益	40	49
投資有価証券売却益	56	142
補助金収入	94	257
特別利益合計	190	448
特別損失		
固定資産処分損	179	55
その他	6	1
特別損失合計	186	56
税金等調整前当期純利益	9,887	10,743
法人税、住民税及び事業税	3,074	3,099
法人税等調整額	△691	△111
法人税等合計	2,383	2,988
当期純利益	7,504	7,755
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	23	△10
親会社株主に帰属する当期純利益	7,480	7,766

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
当期純利益	7,504	7,755
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△83	△568
繰延ヘッジ損益	△2	12
為替換算調整勘定	△8	△36
退職給付に係る調整額	129	164
その他の包括利益合計	34	△427
包括利益	7,538	7,328
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	7,516	7,337
非支配株主に係る包括利益	22	△9

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	11,392	10,358	31,479	△434	52,794
当期変動額					
剰余金の配当			△1,106		△1,106
親会社株主に帰属する 当期純利益			7,480		7,480
自己株式の取得				△1	△1
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	6,373	△1	6,371
当期末残高	11,392	10,358	37,853	△436	59,166

	その他の包括利益累計額					非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	421	1	12	△1,472	△1,037	6	51,763
当期変動額							
剰余金の配当							△1,106
親会社株主に帰属する 当期純利益							7,480
自己株式の取得							△1
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△83	△2	△7	129	35	22	58
当期変動額合計	△83	△2	△7	129	35	22	6,430
当期末残高	337	△1	4	△1,343	△1,001	29	58,193

当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	11,392	10,358	37,853	△436	59,166
当期変動額					
剰余金の配当			△1,660		△1,660
親会社株主に帰属する 当期純利益			7,766		7,766
自己株式の取得				△1	△1
連結子会社株式の取得に よる持分の増減		△0			△0
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	△0	6,106	△1	6,105
当期末残高	11,392	10,357	43,959	△437	65,271

	その他の包括利益累計額					非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	337	△1	4	△1,343	△1,001	29	58,193
当期変動額							
剰余金の配当							△1,660
親会社株主に帰属する 当期純利益							7,766
自己株式の取得							△1
連結子会社株式の取得に よる持分の増減							△0
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△568	12	△37	164	△428	△9	△437
当期変動額合計	△568	12	△37	164	△428	△9	5,667
当期末残高	△230	10	△32	△1,178	△1,430	19	63,861

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	9,887	10,743
減価償却費	2,088	2,126
のれん償却額	213	181
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	129	147
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	199	148
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5	3
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	14	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	40	23
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	60	98
受取利息及び受取配当金	△93	△60
支払利息	69	47
持分法による投資損益 (△は益)	△4	△4
投資有価証券売却損益 (△は益)	△239	△142
固定資産処分損益 (△は益)	145	14
補助金収入	△94	△257
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,293	△1,269
前受金の増減額 (△は減少)	△648	6,310
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,787	△2,567
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,393	5,292
前渡金の増減額 (△は増加)	139	△1,038
未払又は未収消費税等の増減額	1,209	△661
その他	610	613
小計	8,046	19,749
利息及び配当金の受取額	93	60
利息の支払額	△68	△47
法人税等の支払額	△3,320	△3,151
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,751	16,609
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△309	△319
定期預金の払戻による収入	236	308
投資有価証券の取得による支出	△3,790	△749
投資有価証券の売却による収入	4,530	201
有形固定資産の取得による支出	△1,738	△2,256
有形固定資産の売却による収入	68	94
無形固定資産の取得による支出	△188	△77
貸付けによる支出	△575	△570
貸付金の回収による収入	574	573
補助金の受取額	194	84
その他	△27	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,024	△2,712

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	300	—
短期借入金の返済による支出	△300	—
長期借入れによる収入	—	1,000
長期借入金の返済による支出	△2,494	△2,026
自己株式の増減額 (△は増加)	△1	△1
配当金の支払額	△1,105	△1,659
その他	△15	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,617	△2,706
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△29
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	107	11,161
現金及び現金同等物の期首残高	18,503	18,610
現金及び現金同等物の期末残高	18,610	29,771

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を当連結会計年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表における「流動資産」の「繰延税金資産」1,170百万円、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」192百万円および「固定負債」の「繰延税金負債」302百万円は、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」1,124百万円および「固定負債」の「繰延税金負債」64百万円として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品の販売、生産体制やサービスの類似性を基準とした事業部門を設置しており、各事業部門は包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは事業部門を基礎としたセグメントから構成されており、「パッケージングプラント事業」、「メカトロシステム事業」および「農業用設備事業」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主要な製品は、以下のとおりであります。

セグメントの名称	主要製品
パッケージングプラント事業	ボトリングシステム(充填システム、キャッピングシステム、ラベリングシステムなど)、製函・包装システム、製薬設備システム(医薬品製造システム、アイソレータなど)、再生医療システム(細胞培養アイソレータ、ロボット自動細胞培養システム、バイオ3Dプリンターなど)など
メカトロシステム事業	切断加工システム(レーザ加工機、ウォータージェット切断加工機、水素ガス切断加工機など)、半導体製造システム(ハンダボールマウンタ、ワイヤボンダ、LED検査装置など)、医療機器(レーザ手術および治療装置、人工透析装置など)、超音波発生装置、油圧プレス機など
農業用設備事業	農業用選果・選別システムなど

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であり、セグメント間の内部売上高および振替高は市場実勢価格等に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
 前連結会計年度(自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務 諸表計上 額(注) 2
	パッケージ ングプラ ント事業	メカトロ システム 事業	農業用設備 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	54,389	30,192	13,558	98,140	—	98,140
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,222	445	648	2,317	△2,317	—
計	55,612	30,638	14,207	100,457	△2,317	98,140
セグメント利益	8,530	1,664	1,415	11,610	△2,005	9,605
セグメント資産	56,366	27,023	9,009	92,399	19,347	111,747
その他の項目						
減価償却費	1,446	437	133	2,018	68	2,086
のれんの償却額	60	137	15	213	—	213
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,103	673	78	1,855	50	1,906

(注) 1. 調整額の内容は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△2,005百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,994百万円および棚卸資産等の調整額△10百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額19,347百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産19,387百万円および棚卸資産等の調整額△39百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金(現金及び預金、投資有価証券)および管理部門に係る資産であります。
 - (3) 減価償却費の調整額は、全社資産に係る減価償却費であります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産の増加額であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業損益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務 諸表計上 額(注) 2
	パッケージ ングプラ ント事業	メカトロ システム 事業	農業用設備 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	63,777	31,001	13,848	108,626	—	108,626
セグメント間の内部売上高 又は振替高	728	636	819	2,184	△2,184	—
計	64,506	31,638	14,667	110,811	△2,184	108,626
セグメント利益	9,870	1,634	1,003	12,509	△2,140	10,369
セグメント資産	62,400	29,420	8,753	100,574	30,562	131,136
その他の項目						
減価償却費	1,439	478	136	2,054	68	2,123
のれんの償却額	44	137	—	181	—	181
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,754	2,702	136	4,594	180	4,775

(注) 1. 調整額の内容は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△2,140百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,132百万円および棚卸資産等の調整額△7百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額30,562百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産30,609百万円および棚卸資産等の調整額△47百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金（現金及び預金、投資有価証券）および管理部門に係る資産であります。
 - (3) 減価償却費の調整額は、全社資産に係る減価償却費であります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産の増加額であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業損益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2017年7月1日 至 2018年6月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	北米	その他	合計
68,593	20,888	4,263	4,394	98,140

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称または氏名	売上高	関連するセグメント名
ニプロ株式会社	12,535	メカトロシステム事業

当連結会計年度（自 2018年7月1日 至 2019年6月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	北米	その他	合計
81,958	15,858	4,451	6,358	108,626

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称または氏名	売上高	関連するセグメント名
ニプロ株式会社	15,604	メカトロシステム事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)

(単位：百万円)

	パッケージング プラント事業	メカトロ システム事業	農業用設備事業	全社・消去	合計
当期末残高	66	490	—	—	556

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位：百万円)

	パッケージング プラント事業	メカトロ システム事業	農業用設備事業	全社・消去	合計
当期末残高	21	353	—	—	375

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)		当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	
1株当たり純資産額	2,102円23銭	1株当たり純資産額	2,307円43銭
1株当たり当期純利益	270円36銭	1株当たり当期純利益	280円70銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当連結会計年度 (2019年6月30日)
純資産の部の合計額	58,193百万円	63,861百万円
純資産の部の合計額から控除する金額 (うち非支配株主持分)	29百万円 (29百万円)	19百万円 (19百万円)
普通株式に係る期末の純資産額	58,164百万円	63,841百万円
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数	27,668千株	27,667千株

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
親会社株主に帰属する当期純利益	7,480百万円	7,766百万円
普通株主に帰属しない金額	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益	7,480百万円	7,766百万円
普通株式の期中平均株式数	27,668千株	27,668千株
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり当期純利益の算定に含めなかった 潜在株式の概要	新株予約権 (第四回信託型ライツ・プラン) 50,000千株	新株予約権 (第四回信託型ライツ・プラン) 50,000千株

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 受注の状況

① セグメント別の受注高

(単位：百万円)

セグメントの名称	前連結会計年度	当連結会計年度	対前年比
			%
パッケージングプラント事業	70,603	80,397	+13.9
（酒類用プラント）	（ 2,516 ）	（ 2,798 ）	（ +11.2 ）
（食品用プラント）	（ 50,865 ）	（ 59,720 ）	（ +17.4 ）
（薬品・化粧品用プラント）	（ 14,842 ）	（ 15,789 ）	（ +6.4 ）
（その他）	（ 2,379 ）	（ 2,089 ）	（ △12.2 ）
メカトロシステム事業	31,829	28,914	△9.2
農業用設備事業	14,439	11,862	△17.8
合 計	116,873	121,174	+3.7

② セグメント別の受注残高

(単位：百万円)

セグメントの名称	前連結会計年度	当連結会計年度	対前年比
			%
パッケージングプラント事業	45,855	62,476	+36.2
（酒類用プラント）	（ 1,463 ）	（ 1,275 ）	（ △12.8 ）
（食品用プラント）	（ 33,190 ）	（ 46,334 ）	（ +39.6 ）
（薬品・化粧品用プラント）	（ 10,476 ）	（ 14,348 ）	（ +37.0 ）
（その他）	（ 725 ）	（ 517 ）	（ △28.7 ）
メカトロシステム事業	11,464	9,377	△18.2
農業用設備事業	8,770	6,784	△22.6
合 計	66,090	78,638	+19.0

(2) 役員の変動

※ () は現職であります。

① 代表取締役の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動

(1) 新任取締役候補

宮 前 和 浩	(上席執行役員 経理副本部長 兼 財務部長、再生医療システム本部 (法務担当))
取締役	経理副本部長 兼 財務部長、再生医療システム本部 (法務担当)

(2) 異動予定日 (定時株主総会開催予定日)

2019年9月26日